

2008年度第4回日本学生オリエンテーリング連盟幹事会議事録

日付 2009年3月18日

場所 みよし旅館

担当 沢厚太郎（広報部長）

出席

小林（幹事長）	山室（関東学連代表幹事）	矢野
小見山（副幹事長）	堀（関西学連代表幹事）	戸田
沢（広報部長）	藤森（東海学連代表幹事）	幸原
長峯（事業部長）	河上（北信越学連代表幹事）	市脇
北村（会計）		清水
青山（会計監査）		西名
佐藤（Web管理）	齊藤	富田

欠席

藤島（北東学連代表幹事） 田川（普及部長） 石井（会計監査）

1、自己紹介

- ・省略

2、次年度幹事への引き継ぎ

- ・とくに期限を定めないが、順次引継ぎを行っていく。
- ・新幹事に事務局より日本学連活動報告書を配布する。

3、08年度幹事の活動報告

- ・現職幹事は活動報告を3/31までに幹事長・小林に提出する。
Word2003形式で作成することが望ましい。

4、インカレスプリント競技部門の設置について

- ・J O Aの全日本スプリントとの共催・併設を前提に、毎年安定して開催できるのか？
が前回幹事会の論点
→全日本スプリントに、毎年インカレスプリントというクラスを設けるのは難しい
との回答
- ・現在J O Aと交渉中

※インカレスプリント開催に向けての疑問点

- ・全国から人が集まらないでインカレと言えるのか？
- ・ロングやミドルと比べて応援が盛り上がるか？
→むしろスプリントは会場回りを使って組みやすいという利点はある
- ・スプリントの地図を作るのは大変？
→参加費の高騰が心配
- ・日程が厳しいのでは。インカレやそのセレを考えると調整も難しい。ミドルセレの練習みたいなムードになってしまいがちではないか。

※技術委員会の考えるインカレスプリントのメリット

- ・世界大会を視野に入れスプリント競技の強化
- ・NT選手を身近に考えてもらえる。同じコースで勝負できる。

5、決算報告

- ・暫定版の決算報告が完成
- ・不明の収入は関東学連の家賃支払い分。
- ・ジェネシスへの地図代は過去の未払い分（矢板前高原等）
- ・報告書は活動報告書

- ・加盟金・賛助金・地図代等はまだ確定していないので決算はまた作りなおす。

※今年度は2年分のインカレ貸付金返還が見込めるので赤字予算は免れたが赤字体質であることに変わりはない。

→来年度以降、加盟金の値上げも視野に入れて議論を。

6、学連主催・後援行事とJ O A主催行事のバッティングへの対応

- ・I C ロングと中日東海、新潟大大会とJ W O C セレ、S W O C と春インカレなど重要度の高い大会同士は調整したほうがいいのではないだろうか？と小林が提案
→実際に日程を調整する機関が存在しない。
重要な大会は早めに日程を発表するしかない。

7、理事会報告

- ・特になし

8、技術委員会報告

- ・技術委員会を開催
- ・理事会へシード選手の推薦を行った

9、TCG報告

- ・2009年度ロングは矢板で行う。前高原をクローズ中。
実行委員長は未定ながら、ジェネシスとの共催進行中。

10、諮問委員会報告

- ・特になし

11、各部局報告

- ・各部局長は報告書をメールで佐藤に送ること

12、地区学連活動報告

北信越学連 ミドルインカレの振り込み 引き継ぎ インカレ観戦ガイドとりまとめ
今後は総会や新潟大会、金沢大会を予定

関東学連 関東リレー 総会

東海学連 特に活動なし

関西学連 学連合宿 女子対抗戦

今後は総会や引き継ぎを予定

- ・各地区学連代表幹事は報告書をメールで佐藤に送る

13、次回幹事会について

- ・6月の東大会の際に行う

14、後援申請

- ・東北大会の後援申請を9/10で承認。

15、山口大学

- ・山口大学の廃部が確定的→昨年幹事会で議論した通りの対応をとる（中九四学連自体は残し加盟者0として扱う）

16、関東学連規約改正

- ・規約が実情とあまりにもかけ離れているので、最低限のモラルを踏まえつつ、規約

の方を改正してほしい。

→若干の訂正を加えて総会で承認をとる。